



都立府中療育センター新聞 第486号 発行日 平成30年5月31日

平成30年度 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会

院長 大島 哲

平成30年度日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会が5月21日から5月23日の3日間にわたり、新神戸駅にほど近い神戸芸術センターで開催され、当院からは釜看護科長と私が参加いたしました。

本会議は、日本重症心身障害福祉協会が主催し、毎年度開催されるもので、今年度は、近畿ブロック兵庫県の「にこにこハウス医療福祉センター」はじめ5施設が当番施設となり、全国132施設の理事長、院長、事務長、看護部長等400人余りが参加しました。

開催初日には施設見学が行われ、「医療福祉センターさくら」を訪問しました。同施設は三田市郊外の自然豊かな環境の中に開設された300床の医療型障害児入所施設兼療養介護施設であり、ことに、強度行動障害児（者）に積極的にも暖かく対応していたことが印象的でした。

翌日は定例総会に引き続き行政説明が行われました。今回の説明では重症心身障害の中でも、主に医療的ケア児の支援体制の充実について解説いただきました。

特別講演では「療養介護と重症心身障害施設のこれからを考える」と題して「ベルデさかい」の児玉和夫先生が講演されました。これまでの制度改正、診療報酬等の改正について概説され、療養介護についてICF国際生活機能分類(2001)WHO生活機能モデルの重要性を強調されました。

最終日は「重症心身障害児（者）が社会で豊かに暮らすための支援の進化」と題してシンポジウムが行われました。新井氏は脳性まひに関して小児期、青年・成人期に分けて病態に応じた包括介入の重要性を述べられました。曾根氏はIASSIDD（国際知的・発達障害学会）の活動を紹介し、国際協調の重要性を述べられました。佐藤氏はICTを用いた医療情報等の共有に向けた調査研究事業の現況を概説されました。河崎氏は神戸市の医療福祉コーディネート事業の現状を紹介されました。熊田氏はNPO法人事業としてファミリーレスパイトの試みを紹介されました。山岡氏は自らの重症心身障害児家族の経験を通して、新たに薬局を開設しての在宅支援を行っていることを話されました。

報告事項として、専門看護師研修部会副委員長である、当院釜英介看護科長から認定教育機関の進捗状況について、全国7ブロックで現在まで455名の認定者を輩出したこと、今年度以降シラバスの統一化を図ること、今後は認定者の積極的活用や影響調査、効果検証を行う等の課題があることを報告しました。

全体を通して、重症心身障害児（者）施設の今後の方向を見通すための有意義な会議でありました。

右の写真
「総会の様子」

左の写真
「施設見学先
医療福祉センターさくら
の正面玄関」



看護の日

看護の日実行委員 岡部 淳子

府中療育センターでは、5月9日に「看護の日」のイベントを行いました。当日は、小雨が降り肌寒い中、傘を差しながら多くの方に会場である「あじさい館」まで足を運んでいただき、利用者と家族、職員を合わせて246名の参加がありました。

今年度のテーマは、「ふれあいの心を療育に」としました。利用者さんや家族とのふれあい、職員同士のふれあいの時間が作れるように「タッチケア」「ブルブルブルドッグ体操」「健康チェック」の3つのコーナーを設けました。

「タッチケア」では、オレンジの香りが漂うなか、利用者さんに対してご家族がタッチケアを行い親子の絆を一段と深め合う姿が見られました。職員もゆっくり利用者さんやご家族とコミュニケーションをとることができました。

「ブルブルブルドッグ体操」では、参加者は、衣装を身につけ音楽・映像に合わせて利用者さんの頬に触れたり、体を動かしたりして楽しんでいました。ポンポンを持ったスタッフがダンスを盛り上げ、病棟では見られない利用者さんの表情を引き出すことができました。

「健康チェック」では、血圧測定と骨密度測定を行いました。骨密度測定をされたご家族から、「自分の骨密度がわかったので良かった」「大丈夫そうで良かった。これからもこの子の介護が続けられます」「食事や運動など、健康に気をつけたい」などの意見があり、自身の健康管理や介護に向けての励みになったようです。

今年度も各病棟より、工夫を凝らした多くの折り紙を提供していただき、来場して頂いた方へ配布したところ、たいへん喜ばれました。ご協力ありがとうございました。今回、多くの方に来場していただきましたが、午前と午後に分散して案内をすることができたため、混乱することなく安全に体験していただくことができました。



動物とふれあう会を開催しました



看護科 柏木 奈穂美

平成21年から始まった「動物とふれあう会」が今年も開催され、第1回の活動が、4月25日(水)に行われました。朝は雨が降っていたため、予定通り開催できるのか心配しましたが、皆さんの思いが伝わり午後からは雨もやんで晴れ間も見えていました。

当日は利用者・家族21名、ボランティア11名、犬9頭、職員30名が参加しました。利用者は、犬を優しく撫でてみたり、犬の動きを見て微笑んだり、楽しいひと時を過ごすことができました。

また、端午の節句にちなんで、今回は犬が鯉のぼりで遊ぶパフォーマンスを見せてくれ、会場内が笑顔に包まれました。

今年度は「動物とふれあう会」を9月、11月、2月にも予定しています。皆さん奮ってご参加ください。



学校行事

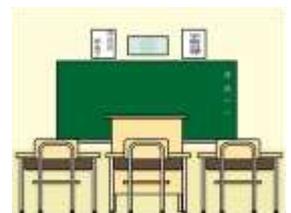
	行事名	参加者	場所
1 学 期	始業式・入学式	全員	大会議室
	卒業遠足	対象児童・生徒	センター外
	終業式	全員	大会議室
2 学 期	始業式	全員	大会議室
	センター祭	全員	センター
	校外学習	対象児童・生徒	センター外
	終業式	全員	大会議室
3 学 期	始業式	全員	大会議室
	音楽鑑賞会	全員	訓練室
	高等部入学相談	対象生徒	くぬぎ分教室他
	小学部一日入学	小学部新入生	くぬぎ分教室他
	中学部一日入学	中学部新入生	くぬぎ分教室他
	高等部卒業式	対象生徒	センター外・本校
	小・中学部卒業式	対象児童	センター外・本校
修了式	全員	大会議室	

くぬぎ分教室の紹介



くぬぎ分教室 荒川 徹

新年度が始まって2ヶ月が過ぎ、あっという間に新緑の季節になりました。今年度当初は、小学部の児童2名でスタートしましたが、4月に中学部の生徒が加わり、児童・生徒3名で学習を進めています。今年度は、左記の表のような行事を予定しています。フレッシュな教員も加わり、活気に溢れた教育活動を行っていききたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



誕生日会&春のお楽しみ会を開催しました



3-2病棟 村山 和子

今年度の最初のコンサートとして、5月23日(水)に『誕生日会&春のお楽しみ会』を開催しました。利用者さんに加えご家族の方々や他病棟の方々が大勢参加してくださいました。誕生日の記念撮影後に、ピアノに合わせて皆から誕生日を迎えた利用者の方へ「Happyバースデイ」の歌や「キャンディキャンディ」の歌をプレゼントしました。



それからコンサート「ザ! 昭和!」をテーマにピアノ演奏が始まりました。選曲が主に昭和の曲だったこともあり、ご家族の方々も思い出を語りあい、「見上げてごらん夜の星」や「ふるさと」、「赤とんぼ」などの演奏時には歌を口ずさみながら一緒に楽しんでいました。「サザエさん」の曲に笑顔を見せる利用者の方もいました。鈴を腕に通し振ったり、タンバリンを叩いたり様々なかたちでピアノに合わせてコンサートを楽しみました。また、ピアノの演奏を鑑賞するだけでなく「キャンディキャンディ」「ぞうさん」「アンパンマン」の曲を皆で合唱しました。

バスハイクに行ってきました!



5-B病棟 中山 亜矢

5-B病棟では、5月11日(金)に高幡不動尊に利用者4名、家族1名、職員4名の計9名でバスハイクに行きました。

当日は前日の雨が嘘のような晴天に恵まれ、現地では、5月の爽やかな空気に思う存分触れてきました。境内には、様々なお参りスポットがあり、立派にそびえ立つ五重塔はとても壮大でした。広い境内の散策中に白い花を見つけ「この花は何の花だろうね…」と花の話題で盛り上がり、お土産屋さん廻りをしたりして楽しみました。利用者さんは、境内や往復のバス内でも笑顔が多く、参加したご家族からも好評のバスハイクとなりました。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>